

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成25年8月13日
【四半期会計期間】	第40期第1四半期(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
【会社名】	株式会社ハマキョウレックス
【英訳名】	HAMAKYOREX CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 大須賀 秀徳
【本店の所在の場所】	静岡県浜松市南区寺脇町1701番地の1
【電話番号】	(053)444-0054
【事務連絡者氏名】	常務取締役執行役員管理本部長 山崎 裕康
【最寄りの連絡場所】	静岡県浜松市南区寺脇町1701番地の1
【電話番号】	(053)444-0054
【事務連絡者氏名】	常務取締役執行役員管理本部長 山崎 裕康
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

1. 訂正の経緯

当社は、平成25年6月下旬に滞留債権の回収進捗について確認を行ったところ、過去の架空売上計上及び取引業者を利用した着服の疑いが生じたことから、平成25年7月12日付で調査委員会を設置し、調査を進めてまいりました。その結果、過年度の架空売上計上及び取引業者を利用した着服が行われていることが判明し、四半期連結財務諸表に含まれる不適切な会計処理を訂正することと致しました。

2. 会計処理

四半期連結財務諸表において過大に計上されていた「営業収益」及び「営業原価」を修正するとともに、架空売上・着服に係る債権の修正等、必要と認められる修正を行いました。なお、第39期以前の不適切な会計処理に基づく損益修正額は、第40期の特別損失に「過年度不正関連損失」として計上しております。

これらの決算訂正により、当社が平成22年8月11日に提出致しました第40期第1四半期(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)に係る四半期報告書の一部を訂正する必要が生じたので、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、訂正後の四半期連結財務諸表につきましては、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

また、四半期連結財務諸表の記載内容に係る訂正箇所については、XBRLの修正も行いましたので併せて修正後のXBRL形式のデーター式(表示情報ファイルを含む)を提出致します。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

1 生産、受注及び販売の状況

4 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(1) 経営成績の分析

(2) 財政状態の分析

(3) キャッシュ・フローの状況

第5 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(2) 四半期連結損益計算書

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

注記事項

(四半期連結貸借対照表関係)

(セグメント情報等)

セグメント情報

(1 株当たり情報)

3 【訂正箇所】

訂正箇所は____を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第 1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

連結経営指標等

(訂正前)

回次	第39期 第 1 四半期連結 累計(会計)期間	第40期 第 1 四半期連結 累計(会計)期間	第39期
会計期間	自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 6 月30日	自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月30日	自 平成21年 4 月 1 日 至 平成22年 3 月31日
営業収益 (千円)	18,907,812	<u>20,516,479</u>	78,273,564
経常利益 (千円)	1,144,963	<u>1,501,745</u>	5,023,273
四半期(当期)純利益 (千円)	508,813	<u>698,511</u>	2,396,836
純資産額 (千円)	19,536,774	<u>22,136,125</u>	21,566,963
総資産額 (千円)	75,406,104	<u>82,471,799</u>	81,158,725
1株当たり純資産額 (円)	2,034.18	<u>2,312.33</u>	2,245.82
1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)	60.91	<u>83.62</u>	286.92
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	22.5	<u>23.4</u>	23.1
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	1,251,989	1,115,821	3,700,788
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	△101,898	△1,239,779	△827,854
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	△737,608	△279,391	△1,554,511
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	2,324,022	2,826,612	3,229,962
従業員数 (名)	3,575	3,919	3,861

(訂正後)

回次	第39期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第40期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第39期
会計期間	自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日	自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日	自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日
営業収益 (千円)	18,907,812	<u>20,450,320</u>	78,273,564
経常利益 (千円)	1,144,963	<u>1,435,586</u>	5,023,273
四半期(当期)純利益 (千円)	508,813	<u>591,013</u>	2,396,836
純資産額 (千円)	19,536,774	<u>22,028,628</u>	21,566,963
総資産額 (千円)	75,406,104	<u>82,364,302</u>	81,158,725
1株当たり純資産額 (円)	2,034.18	<u>2,299.47</u>	2,245.82
1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)	60.91	<u>70.75</u>	286.92
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	22.5	<u>23.3</u>	23.1
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	1,251,989	1,115,821	3,700,788
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	△101,898	△1,239,779	△827,854
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	△737,608	△279,391	△1,554,511
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	2,324,022	2,826,612	3,229,962
従業員数 (名)	3,575	3,919	3,861

第2 【事業の状況】

1 【生産、受注及び販売の状況】

営業収益の実績

当第1四半期連結会計期間における営業実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(訂正前)

セグメントの名称	営業収益(千円)	前年同四半期比(%)
物流センター事業	<u>9,835,305</u>	—
貨物自動車運送事業	10,681,174	—
合計	<u>20,516,479</u>	—

(訂正後)

セグメントの名称	営業収益(千円)	前年同四半期比(%)
物流センター事業	<u>9,769,145</u>	—
貨物自動車運送事業	10,681,174	—
合計	<u>20,450,320</u>	—

4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

(訂正前)

こうした中、当企業グループの当第1四半期は、営業収益205億16百万円(前年同期比8.5%増)、経常利益15億1百万円(同31.2%増)、四半期純利益6億98百万円(同37.3%増)となりました。

(訂正後)

こうした中、当企業グループの当第1四半期は、営業収益204億50百万円(前年同期比8.2%増)、経常利益14億35百万円(同25.4%増)、四半期純利益5億91百万円(同16.2%増)となりました。

各セグメント別の営業状況は、次のとおりであります。

(物流センター事業)

(訂正前)

当第1四半期の営業収益は、98億35百万円、営業利益は12億90百万円となりました。営業収益増加の主な要因は、物流センター運営の充実と前連結会計年度に新規稼動したセンターが順次業績に寄与したことによるものであります。

(訂正後)

当第1四半期の営業収益は、97億69百万円、営業利益は12億24百万円となりました。営業収益増加の主な要因は、物流センター運営の充実と前連結会計年度に新規稼動したセンターが順次業績に寄与したことによるものであります。

(2) 財政状態の分析

(訂正前)

当企業グループの当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比13億13百万円増加し824億71百万円となりました。主な要因といたしましては、現金及び預金が1億34百万円、受取手形及び売掛金が83百万円それぞれ減少し、有形固定資産が14億40百万円増加したことによるものであります。

(訂正後)

当企業グループの当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比12億5百万円増加し823億64百万円となりました。主な要因といたしましては、現金及び預金が1億34百万円、受取手形及び売掛金が2億70百万円それぞれ減少し、有形固定資産が14億40百万円増加したことによるものであります。

(訂正前)

純資産につきましては、前連結会計年度末比5億69百万円増加し、221億36百万円となりました。これは主に、四半期純利益6億98百万円の計上と剰余金の配当による減少1億33百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の23.1%から23.4%へと増加しております。

(訂正後)

純資産につきましては、前連結会計年度末比4億61百万円増加し、220億28百万円となりました。これは主に、四半期純利益5億91百万円の計上と剰余金の配当による減少1億33百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の23.1%から23.3%へと増加しております。

(3) キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

(訂正前)

営業活動によるキャッシュ・フローは、11億15百万円の資金獲得となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益が13億38百万円、減価償却費6億49百万円がそれぞれ増加し、又、減少要因として法人税等の支払額10億69百万円によるものであります。前連結会計期間に比べ1億36百万円資金獲得が減少しております。

(訂正後)

営業活動によるキャッシュ・フローは、11億15百万円の資金獲得となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益が11億59百万円、減価償却費6億49百万円がそれぞれ増加し、又、減少要因として法人税等の支払額10億69百万円によるものであります。前連結会計期間に比べ1億36百万円資金獲得が減少しております。

第5 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、前第1四半期連結会計期間(平成21年4月1日から平成21年6月30日まで)及び前第1四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年6月30日まで)は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第1四半期連結会計期間(平成22年4月1日から平成22年6月30日まで)及び当第1四半期連結累計期間(平成22年4月1日から平成22年6月30日まで)は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第1四半期連結会計期間(平成21年4月1日から平成21年6月30日まで)及び前第1四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表並びに当第1四半期連結会計期間(平成22年4月1日から平成22年6月30日まで)及び当第1四半期連結累計期間(平成22年4月1日から平成22年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

なお、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出しておりますが、訂正後の四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
(1) 【四半期連結貸借対照表】
(訂正前)

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,386,672	3,521,024
受取手形及び売掛金	9,837,309	9,920,873
商品	4,630	4,724
貯蔵品	151,261	142,984
その他	1,290,302	1,157,168
貸倒引当金	△40,058	△45,616
流動資産合計	14,630,117	14,701,159
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	※1 23,936,664	※1 24,097,631
土地	34,066,924	33,695,411
その他（純額）	※1 4,490,187	※1 3,260,058
有形固定資産合計	62,493,775	61,053,101
無形固定資産	1,954,999	1,979,424
投資その他の資産	※2 3,392,907	※2 3,425,039
固定資産合計	67,841,682	66,457,565
資産合計	82,471,799	81,158,725
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,640,916	5,610,689
短期借入金	32,144,690	31,434,168
未払法人税等	627,557	1,264,868
賞与引当金	454,171	490,808
役員賞与引当金	12,616	45,290
その他	4,030,901	3,509,939
流動負債合計	42,910,854	42,355,765
固定負債		
長期借入金	7,942,544	8,604,752
退職給付引当金	4,683,576	4,711,237
役員退職慰労引当金	332,606	335,276
その他	4,466,092	3,584,730
固定負債合計	17,424,819	17,235,997
負債合計	60,335,673	59,591,762
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,045,050	4,045,050
資本剰余金	3,951,405	3,951,405
利益剰余金	11,396,320	10,831,466
自己株式	△7,516	△7,388
株主資本合計	19,385,259	18,820,532
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△69,186	△59,939
評価・換算差額等合計	△69,186	△59,939
少数株主持分	2,820,053	2,806,370
純資産合計	22,136,125	21,566,963
負債純資産合計	82,471,799	81,158,725

(訂正後)

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,386,672	3,521,024
受取手形及び売掛金	9,650,000	9,920,873
商品	4,630	4,724
貯蔵品	151,261	142,984
その他	1,370,113	1,157,168
貸倒引当金	△40,058	△45,616
流動資産合計	14,522,620	14,701,159
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	※1 23,936,664	※1 24,097,631
土地	34,066,924	33,695,411
その他（純額）	※1 4,490,187	※1 3,260,058
有形固定資産合計	62,493,775	61,053,101
無形固定資産	1,954,999	1,979,424
投資その他の資産	※2 3,392,907	※2 3,425,039
固定資産合計	67,841,682	66,457,565
資産合計	82,364,302	81,158,725
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,640,916	5,610,689
短期借入金	32,144,690	31,434,168
未払法人税等	627,557	1,264,868
賞与引当金	454,171	490,808
役員賞与引当金	12,616	45,290
その他	4,030,901	3,509,939
流動負債合計	42,910,854	42,355,765
固定負債		
長期借入金	7,942,544	8,604,752
退職給付引当金	4,683,576	4,711,237
役員退職慰労引当金	332,606	335,276
その他	4,466,092	3,584,730
固定負債合計	17,424,819	17,235,997
負債合計	60,335,673	59,591,762
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,045,050	4,045,050
資本剰余金	3,951,405	3,951,405
利益剰余金	11,288,823	10,831,466
自己株式	△7,516	△7,388
株主資本合計	19,277,762	18,820,532
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△69,186	△59,939
評価・換算差額等合計	△69,186	△59,939
少数株主持分	2,820,053	2,806,370
純資産合計	22,028,628	21,566,963
負債純資産合計	82,364,302	81,158,725

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
営業収益	18,907,812	20,516,479
営業原価	17,222,732	18,497,459
営業総利益	1,685,080	2,019,019
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	36,434	4,477
役員報酬	97,673	118,271
給料及び手当	116,259	136,684
賞与引当金繰入額	13,796	17,217
役員賞与引当金繰入額	11,730	11,976
退職給付費用	※1 7,255	※1 7,374
役員退職慰労引当金繰入額	10,339	9,335
その他	230,370	249,950
販売費及び一般管理費合計	523,860	555,288
営業利益	1,161,219	1,463,731
営業外収益		
受取利息	1,071	515
受取配当金	15,444	16,130
デリバティブ評価益	11,520	—
負ののれん償却額	29,926	50,764
助成金収入	—	62,223
雑収入	65,068	84,740
営業外収益合計	123,031	214,374
営業外費用		
支払利息	121,774	130,997
雑損失	17,512	45,363
営業外費用合計	139,286	176,360
経常利益	1,144,963	1,501,745
特別損失		
減損損失	901	—
投資有価証券売却損	13,795	—
事業構造改善費用	42,103	—
投資有価証券評価損	—	44,533
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	119,041
特別損失合計	56,799	163,574
税金等調整前四半期純利益	1,088,163	1,338,171
法人税、住民税及び事業税	519,802	612,295
法人税等調整額	44,160	△25,518
法人税等合計	563,962	586,777
少数株主損益調整前四半期純利益	—	751,393
少数株主利益	15,387	52,882
四半期純利益	508,813	698,511

(訂正後)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
営業収益	18,907,812	20,450,320
営業原価	17,222,732	18,496,150
営業総利益	1,685,080	1,954,169
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	36,434	5,787
役員報酬	97,673	118,271
給料及び手当	116,259	136,684
賞与引当金繰入額	13,796	17,217
役員賞与引当金繰入額	11,730	11,976
退職給付費用	※1 7,255	※1 7,374
役員退職慰労引当金繰入額	10,339	9,335
その他	230,370	249,950
販売費及び一般管理費合計	523,860	556,597
営業利益	1,161,219	1,397,571
営業外収益		
受取利息	1,071	515
受取配当金	15,444	16,130
デリバティブ評価益	11,520	—
負ののれん償却額	29,926	50,764
助成金収入	—	62,223
雑収入	65,068	84,740
営業外収益合計	123,031	214,374
営業外費用		
支払利息	121,774	130,997
雑損失	17,512	45,363
営業外費用合計	139,286	176,360
経常利益	1,144,963	1,435,586
特別損失		
減損損失	901	—
投資有価証券売却損	13,795	—
事業構造改善費用	42,103	—
投資有価証券評価損	—	44,533
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	119,041
過年度不正関連損失	—	112,229
特別損失合計	56,799	275,804
税金等調整前四半期純利益	1,088,163	1,159,782
法人税、住民税及び事業税	519,802	612,295
法人税等調整額	44,160	△96,410
法人税等合計	563,962	515,885
少数株主損益調整前四半期純利益	—	643,896
少数株主利益	15,387	52,882
四半期純利益	508,813	591,013

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,088,163	1,338,171
減価償却費	558,775	649,648
負ののれん償却額	△29,926	△50,764
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	36,385	4,570
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△209,080	△36,637
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△32,430	△32,673
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△89,123	△27,661
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△8,939	△2,669
受取利息及び受取配当金	△16,516	△16,645
支払利息	121,774	130,997
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	119,041
売上債権の増減額 (△は増加)	395,058	77,012
仕入債務の増減額 (△は減少)	△174,614	30,226
未払消費税等の増減額 (△は減少)	260,550	△44,239
その他の資産・負債の増減額	530,724	143,133
その他	7,738	10,669
小計	2,438,540	2,292,177
利息及び配当金の受取額	16,516	16,645
利息の支払額	△111,784	△123,923
リース解約損	△77,712	—
法人税等の支払額	△1,013,570	△1,069,079
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,251,989	1,115,821
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△51,550	△373,902
定期預金の払戻による収入	52,200	104,904
有形固定資産の取得による支出	△83,049	△999,078
有形固定資産の売却による収入	11,256	122,046
無形固定資産の取得による支出	△44,277	△40,976
投資有価証券の取得による支出	△23,624	△1,262
敷金の差入による支出	△7,259	△32,954
敷金の回収による収入	8,699	31,310
貸付けによる支出	△17,043	△4,314
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	8,359	—
その他	44,390	△45,552
投資活動によるキャッシュ・フロー	△101,898	△1,239,779
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	243,502	903,801
長期借入れによる収入	641,000	255,000
長期借入金の返済による支出	△1,398,189	△1,110,487
自己株式の純増減額 (△は増加)	—	△127
配当金の支払額	△125,304	△133,656
少数株主への配当金の支払額	△30,525	△33,879
リース債務の返済による支出	△68,091	△160,041
財務活動によるキャッシュ・フロー	△737,608	△279,391
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	412,482	△403,350
現金及び現金同等物の期首残高	1,911,539	3,229,962
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 2,324,022	※1 2,826,612

(訂正後)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,088,163	1,159,782
減価償却費	558,775	649,648
負ののれん償却額	△29,926	△50,764
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	36,385	7,875
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△209,080	△36,637
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△32,430	△32,673
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△89,123	△27,661
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△8,939	△2,669
受取利息及び受取配当金	△16,516	△16,645
支払利息	121,774	130,997
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	119,041
売上債権の増減額 (△は増加)	395,058	264,320
仕入債務の増減額 (△は減少)	△174,614	30,226
未払消費税等の増減額 (△は減少)	260,550	△44,239
その他の資産・負債の増減額	530,724	130,909
その他	7,738	10,669
小計	2,438,540	2,292,177
利息及び配当金の受取額	16,516	16,645
利息の支払額	△111,784	△123,923
リース解約損	△77,712	—
法人税等の支払額	△1,013,570	△1,069,079
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,251,989	1,115,821
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△51,550	△373,902
定期預金の払戻による収入	52,200	104,904
有形固定資産の取得による支出	△83,049	△999,078
有形固定資産の売却による収入	11,256	122,046
無形固定資産の取得による支出	△44,277	△40,976
投資有価証券の取得による支出	△23,624	△1,262
敷金の差入による支出	△7,259	△32,954
敷金の回収による収入	8,699	31,310
貸付けによる支出	△17,043	△4,314
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	8,359	—
その他	44,390	△45,552
投資活動によるキャッシュ・フロー	△101,898	△1,239,779
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	243,502	903,801
長期借入れによる収入	641,000	255,000
長期借入金の返済による支出	△1,398,189	△1,110,487
自己株式の純増減額 (△は増加)	—	△127
配当金の支払額	△125,304	△133,656
少数株主への配当金の支払額	△30,525	△33,879
リース債務の返済による支出	△68,091	△160,041
財務活動によるキャッシュ・フロー	△737,608	△279,391
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	412,482	△403,350
現金及び現金同等物の期首残高	1,911,539	3,229,962
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 2,324,022	※1 2,826,612

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

(訂正前)

当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日)
※2 投資その他の資産から直接控除している貸倒引当金の額 97,784千円	※2 投資その他の資産から直接控除している貸倒引当金の額 87,656千円

(訂正後)

当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日)
※2 投資その他の資産から直接控除している貸倒引当金の額 101,089千円	※2 投資その他の資産から直接控除している貸倒引当金の額 87,656千円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

(訂正前)

(単位：千円)

	物流センター 事業	貨物自動車 運送事業	合計	調整額	四半期連結 損益計算書計上額
営業収益					
(1) 外部顧客に 対する営業利益	9,835,305	10,681,174	20,516,479	(—)	20,516,479
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	30,264	390,695	420,959	(420,959)	—
計	9,865,569	11,071,869	20,937,439	(420,959)	20,516,479
セグメント利益	1,290,248	173,063	1,463,311	420	1,463,731

(訂正後)

(単位：千円)

	物流センター 事業	貨物自動車 運送事業	合計	調整額	四半期連結 損益計算書計上額
営業収益					
(1) 外部顧客に 対する営業収益	9,769,145	10,681,174	20,450,320	(—)	20,450,320
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	30,264	390,695	420,959	(420,959)	—
計	9,799,410	11,071,869	20,871,279	(420,959)	20,450,320
セグメント利益	1,224,088	173,063	1,397,151	420	1,397,571

(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

(訂正前)

当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日)
1株当たり純資産額 <u>2,312円33銭</u>	1株当たり純資産額 2,245円82銭

(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	<u>22,136,125</u>	21,566,963
普通株式に係る純資産額(千円)	<u>19,316,072</u>	18,760,592
差額の主な内訳(千円)		
少数株主持分	2,820,053	2,806,370
普通株式の発行済株式数(株)	8,356,000	8,356,000
普通株式の自己株式数(株)	2,505	2,455
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(株)	8,353,495	8,353,545

(訂正後)

当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日)
1株当たり純資産額 <u>2,299円47銭</u>	1株当たり純資産額 2,245円82銭

(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	<u>22,028,628</u>	21,566,963
普通株式に係る純資産額(千円)	<u>19,208,575</u>	18,760,592
差額の主な内訳(千円)		
少数株主持分	2,820,053	2,806,370
普通株式の発行済株式数(株)	8,356,000	8,356,000
普通株式の自己株式数(株)	2,505	2,455
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(株)	8,353,495	8,353,545

2 1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額

(訂正前)

前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
1株当たり四半期純利益 60円91銭	1株当たり四半期純利益 <u>83円62銭</u>
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 —	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 —

2. 1株当たり四半期純利益の算定上の基礎

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(千円)	508,813	<u>698,511</u>
普通株式に係る四半期純利益(千円)	508,813	<u>698,511</u>
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式の期中平均株式数(株)	8,353,615	8,353,517

(訂正後)

前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
1株当たり四半期純利益 60円91銭	1株当たり四半期純利益 <u>70円75銭</u>
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 —	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 —

2. 1株当たり四半期純利益の算定上の基礎

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(千円)	508,813	<u>591,013</u>
普通株式に係る四半期純利益(千円)	508,813	<u>591,013</u>
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式の期中平均株式数(株)	8,353,615	8,353,517

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年8月13日

株式会社ハマキョウレックス
取締役会 御 中

有限責任監査法人 トー マ ツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	浅 野 裕 史	印
--------------------	-------	---------	---

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	山 田 剛 己	印
--------------------	-------	---------	---

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ハマキョウレックスの平成22年4月1日から平成23年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成22年4月1日から平成22年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年6月30日まで）に係る訂正後の四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ハマキョウレックス及び連結子会社の平成22年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

追記情報

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき四半期連結財務諸表を訂正している。当監査法人は訂正後の四半期連結財務諸表について四半期レビューを行った。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。